

万博記念公園 自然ものがたり①

園内の“自然ふれあい”を紹介するページ

(公社)大阪自然環境保全協会

生きもの見わけ方ボランティア養成講座(上)

トンボ

	2016年の日程	テーマ	講師
1	6月25日(土)	トンボ	谷 幸三
2	7月10日(日)	水生生物	谷 幸三
3	7月31日(日)	セミ・チョウ	今井 健介
4	9月11日(日)	シダ	村上健太郎
5	10月16日(日)	キノコ	大藪 崇司
6	11月13日(日)	樹木	田端 敬三
7	12月 4日(日)	野鳥①	田中 秀雄
8	1月22日(日)	野鳥②	田中 秀雄



オニヤンマ(なんと女性の受講生が捕獲)

受講生たちの一言感想

万博記念公園の身近な生きものや植物に親しみ、その特性などを学び、基本的な見分け方のノウハウを身につける講座です。園内の“生きもの調査”にボランティアで参加していただくこともめざしています。

園内の自然をよく知る専門家から、実際のフィールドで自然に触れながら生きものについて多くの知識が得られ、各講師の先生の個性がそれぞれ楽しかったとの感想がありました。

水生生物



◇ トンボの見分け方はなかなか難しいものがあるなど話を聞きながら思いました。名前を知るといことでなく、昆虫(トンボ)の生態や体のしくみを実際に観察しながら理解できてよかったです。♂♀の違いがとてもよくわかってうれしかったです。



受講生たちのひと言感想

- ◇ 良く見ることをあらためて感じました。モリアオガエルのオタマジャクシをじっくり見れて感動でした。家庭から環境問題を考える。子供たちに伝えればと思いました。
- ◇ 場所によって生物の種類、量が違っているおもしろさ等を学びました。また水質についても変化があり、勉強になりました。



珍しく捕まったミンミンゼミ(下右から2番目)



シダ

- ◇ ベニシダの見分け方よ〜わかりました。リョウメンシダがきれいだったりオニヤブソテツがシダに見えないくらい？素敵だったりで、シダの見方が変わりました。説明がよくわかってちょっとシダの見分け方が理解できたように思います。

◆公園内では一般来園者の生物の捕獲は禁じられています。



セミ・チョウ



- ◇ セミのオス、メスの違いや色々な種類のセミについて知ることができた。また、場所が違えば生きものも違ってくることが分かり、とても勉強になった。



リョウメンシダ

